

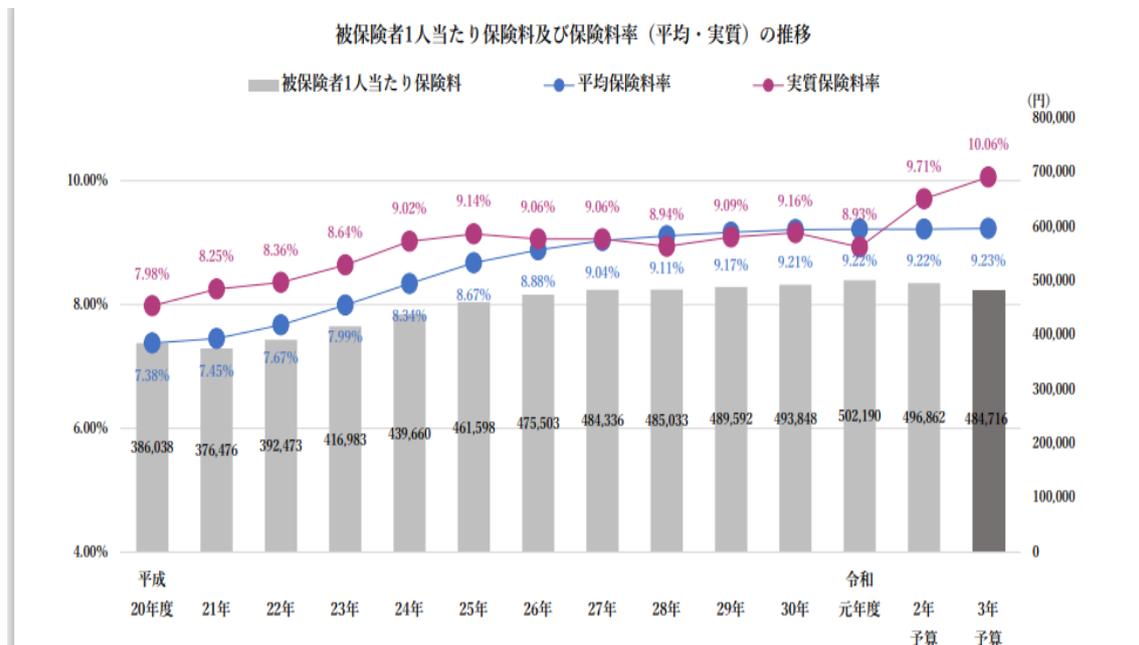
健康保険組合の半数超が赤字！（日本経済新聞 10月6日1面記事より）

6日に公表予定の全国の健康保険組合1388組合の決算見込みによると、21年度は全体の53%にあたる740組合が赤字となっています。（前年度33%から急増）

全組合の収支を合計すると、825億円の赤字となっており、約3千億円の黒字だった前年度から大幅に悪化しています。

この背景として、医療費の増加に加え、65歳以上の高齢者医療への拠出金が膨らんでいる現状にあります。このまま赤字が続くと、保険料率を上げざるを得ない状況です。

21年度は3割弱の組合が保険料率を上げており、OTG健康保険組合においても医療費が年々増加しており、65歳以上の高齢者医療への拠出金の負担も増えています。



出展：健康保険組合連合会令和3年度 健康保険組合 予算編成状況について 予算早期集計結果の概要
(令和3年4月22日)

OTG 健康保険組合
(文責)常務理事 大西昭彦
(作成)保健師 大谷